

の枠内に収まるようにしてください。余白は、上 20 mm、下 27 mm、左 20 mm、右 20 mm とします。活字の大きさは、日本語タイトル 16 ポイント、著者名、英文タイトルと著者名 12 ポイント、章タイトル 11 ポイント、節タイトル 10 ポイント、本文の活字 10 ポイントを目安としてください。原稿は、

- ・和文講演題目
- ・和文著者名（登壇者に○印）と著者所属
- ・英文講演題目
- ・英文著者名（登壇者に*印）と英文著者所属
- ・英文アブストラクト（100～150 ワード程度）
- ・Index terms（英語）最大 5 つ
- ・本文、参考文献

の順に書いてください。Index terms までを 1 段組、本文・参考文献を 2 段組にしてください。見本は、このような段組みになるようになっています。ページ番号やフッタは記入しないでください。



3.2 図と表

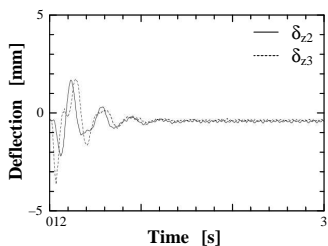


Fig. 1: A sample figure.

図と表は、Fig. 1、Table 1 のように番号を振り（Fig. 1 参照）、図説、図中の説明文は英文で記入してください。本文で引用する場合も「Fig. 1 に示す」などのように Fig と Table を使用してください。

図や表中の文字は小さくなりすぎないように気をつけてください。PDF 原稿を作成する際、図の画質が落ちないように注意してください。Microsoft Word などでは原稿を作成する際、JPEG 画像を貼り付けると、一度圧

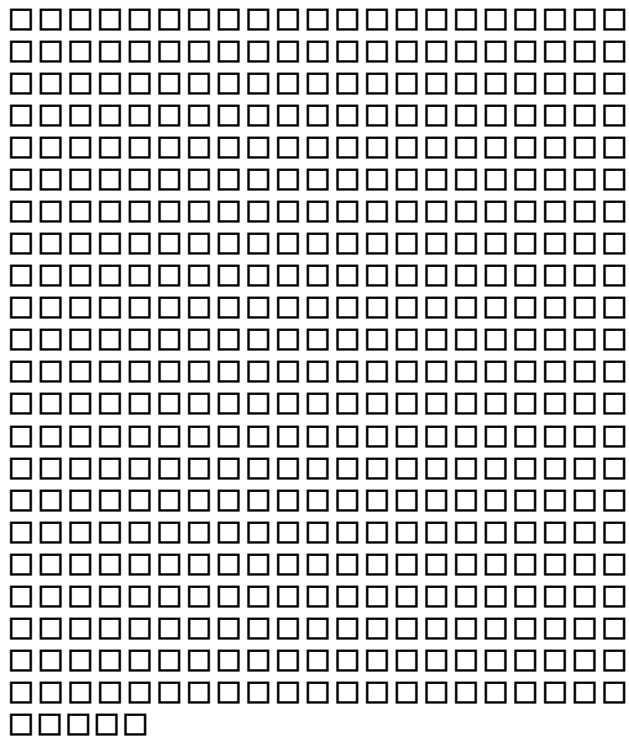
縮されている画像が再圧縮されるので画像が劣化しやすいです。貼り付ける画像は、画質の良い（圧縮率の低い）画像を用いるか圧縮しない画像フォーマットを選ぶなど、最終的な PDF ファイルにおいて画像が劣化しないよう注意してください。



3.3 参考文献

文献の引用は本文中に¹⁾ のように書き、本文の最後にまとめて記述します。次のフォーマットを推奨します。

- (a) 雑誌論文の場合
番号) 著者、論文題目、雑誌名、巻（太字）-号、始ページ/終ページ（年）
- (b) 単行本の場合
番号) 著者、書名、始ページ/終ページ、発行所、（発行年）



参考文献

- 1) <http://www.trafst.jp/symposium2014/>
- 2) 川中孝章、六川修一、佐藤千恵、第 5 回横幹連合総合シンポジウムサンプル原稿、第 5 回横幹連合総合シンポジウム予稿集、1/4 (2014)